



物販や試食でにぎわったふるさとフェア会場＝東京・永田町、自民党本部

飛騨牛、鮎振る舞う

自民党本部、県産品ずらり

県産品を集めた「清流の国ぎふ ふるさとフェア」が16日、東京・永田町の自民党本部前で開かれ、物販のほか飛騨牛や鮎の一夜干し、美濃いび茶など、岐阜の味覚を来場者らに振る舞った。

党本部の玄関前や駐車場で、飛騨牛15キロやポーク25キロを焼き、来場者に振る舞ったほか、鮎の一夜干し、

党本部の玄関前や駐車場で、飛騨牛15キロやポーク25キロを焼き、来場者に振る舞ったほか、鮎の一夜干し、

党本部の玄関前や駐車場で、飛騨牛15キロやポーク25キロを焼き、来場者に振る舞ったほか、鮎の一夜干し、

全農岐阜、岐阜商工会議所などが協力。開会式では、県連会長の野田聖子総務相や古田肇県知事、古屋圭司衆院議員らがあいさつし、二階俊博党幹事長も訪れた。
(宮本寛)